

2018年3月17日

関係各位

光学赤外線天文連絡会声明
広視野近赤外線サーベイ宇宙望遠鏡 WFIRST の推進
光学赤外線天文連絡会

<声明主文>

米国 NASA が進める広視野近赤外線サーベイ宇宙望遠鏡 WFIRST (Wide-Field Infrared Survey Telescope) 計画は、宇宙の加速膨張の解明、系外惑星探査とキャラクタライゼーション、近赤外線サーベイの究極的な計画で 2025 年打ち上げ予定です。日本の WFIRST 参加については、すばる望遠鏡による協調観測、コロナグラフ装置開発参加、地上局支援などによる貢献を、これまでもすばるコミュニティ、光学赤外線天文学連絡会(光赤天連)、宇宙科学研究所等で多くの議論を進めてきました。光赤天連が会員総意の下で編纂した「2020 年代の光赤外天文学」将来計画検討報告書において、WFIRST は日本の光赤外サイエンスにとって重要な計画として位置付けられています。ところが先日発表された米国大統領による 2019 年度の予算教書では、WFIRST 計画をキャンセルすることが示されました。天文学・天体物理学全体の発展に資すると期待される国際大型計画の中止の方針の表明は、たいへん残念です。このような事態を受けて、従来通り WFIRST 計画を強く支持すると共に、日本の WFIRST への貢献のための研究・検討をさらに進めてゆく実行体制の整備を早急に進めることを、我が国の光赤外線天文学コミュニティの総意として、関係各所にここに強く要望します。

<米国大統領予算教書>

すでに報道にありますように、2月12日に米国大統領による2019年度(会計年度)の予算教書(いわゆる大統領予算案)が連邦議会に送附されました。ホワイトハウスの Office of Management and Budget によるその概要は以下です。

<https://www.whitehouse.gov/wp-content/uploads/2018/02/budget-fy2019.pdf>

ここに、連邦政府予算要求と並んで NASA 予算要求がありますが、その中で、「有人月探査およびその先につながる火星探査につながるミッションを優先するため」、予算項目を大きく見直したことが述べられ、そしてそのため WFIRST ミッションをキャンセルすることが示されました。

我々の理解するところでは、大統領予算教書は、米国における年度予算策定のプロセスの最初のステップであって決定ではなく、今後 2019 予算年度の予算策定に向けて、連邦議会での審議が進められるというものです。

<今後の動きと支援の必要性>

これについて、2018年2月12日(予算教書と同日)に NASA 宇宙物理学部長から WFIRST Formulation Science Working Group をはじめとする WFIRST チームに送られたメールに

においては、WFIRST 計画は、昨年後半に行われた「独立評価」の対応も踏まえて、現在の予算を前提とした NASA 科学局のポートフォリオの中で整合しているものであり、2018 予算年度中は、WFIRST の検討は、予定通り（スローダウンすることなく）進めるとする方針が述べられています。その上で、議会による FY19 予算案の作成、承認を踏まえて、（議会がキャンセルを認めない場合）さらに計画をすすめることになると考えられます。

我々の知るところでは、連邦議会はこれまで、上院・下院とも、継続的に WFIRST を支持し、実際、2014 年度から 2017 年度に至るまで、常に各年度で当初予算案を上回る予算を決定しており、このことから、WFIRST への強い支持が議会にあると考えられます。また、既に、米国研究者有志が、議会への働きかけをコミュニティに呼びかけており、その際、国際パートナーからのサポート及びパートナーへの信用を根拠の一つに挙げています。WFIRST 計画の今後について、連邦議会での確たる支持を得るためには、その重要性を、様々な立場から主張してゆくことが必須と考えられます。

本件は、WFIRST 計画についての大きな問題ではありますが、万一、実際に計画がキャンセルされる事態となれば、天文学の国際的な大型計画としても、今後様々な面で影響が見込まれます。とくに米国における天文学の Decadal Survey の位置づけ、そして現在準備が進められている 2020 年代以降を見越した Decadal Survey についても、大きな影響を持ち得て、ひいては、将来の大型・国際計画の策定にも影響し得ます。

このような事態を受けて、日本の WFIRST 計画の推進の母体である宇宙科学研究所・理学委員会・WFIRST Working Group では、こちらも従来の予定通り、WFIRST 計画を強く支持すると共に、日本の WFIRST への参加・貢献のための研究・検討を一層進めてゆくことをあらためて決意しています。

＜結論＞

このような状況で、従来通り WFIRST 計画を強く支持すると共に、日本の WFIRST への貢献のための研究・検討をさらに進めてゆく実行体制の整備を早急に進めることを、我が国の光赤外線天文学コミュニティの総意として、関係各所にここに強く要望します。また、国際大型計画の推進という観点でも、様々なお立場からも、ご意見を発信していただくことを期待いたします。